



▲左から近藤和雄札幌市議、佐々木康宏北竜町長、越智文雄北海道雪氷桜プロジェクト実行委員会委員長、奥田正章北竜町副町長

北海道雪氷桜プロジェクト実行委が 北竜町のひまわりで北海道マラソンを応援

北海道雪氷桜プロジェクト実行委員会（委員長・越智文雄あかりみらい社長）は8月30日の北海道マラソンで、平岸街道沿いの6^{キロ}付近でひまわりによる「花応援」を行った。平岸地域の住民が協力した。

東京オリンピックのマラソン競技の札幌開催をきっかけに始まった市民応援で、今回で6回目。毎年の当別町のひまわりに加え、昨年から23^{キロ}におよそ200万本が咲く「ひまわりの里」が観光名所となっている北竜町からひまわりが持ち込まれ、今回も佐々木康宏町長と奥田正章副町長が沿道で声援を送った。

38回目となる北海道マラソンには過去最高の2万1474人がエントリー。ランナーは手を振りながら「ありがとう」「きれいだね」と声をかけていた。実行委では「この市民応援は東京オリンピックのレガシーの一つ。『6^{キロ}

付近では、ひまわりで応援される」とランナーも期待するような、いわば風物詩として定着させたい」と来年以降も続ける考えだ。

（下）



▲北竜町役場の職員が沿道で応援する市民にひまわりを配った



▲ひまわりを手に声援を送った